



平成29年度基礎健診結果報告

市では、基礎健診とがん検診を毎年5月～11月に実施しています。平成29年度の基礎健診結果をお知らせします。

受診状況(表1)

受診者数は、全体で前年より52人減少しました。特に、生活習慣病予防に取り組む必要性の高い40～74歳の受診者数が407人減少しました。

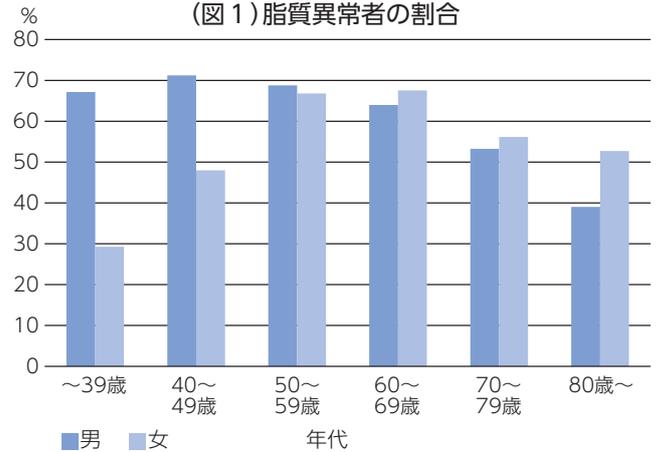
(表1)平成29年度基礎健診受診者数

性別	年齢区分	29年度	28年度
男	～39歳	271人	275人
	40～74歳	1987人	2177人
	75歳～	1031人	1028人
	小計	3289人	3480人
女	～39歳	485人	598人
	40～74歳	2007人	2224人
	75歳～	960人	961人
	小計	3452人	3783人
合計	～39歳	756人	873人
	40～74歳	3994人	4401人
	75歳～	1991人	1989人
	総計	6741人	7263人

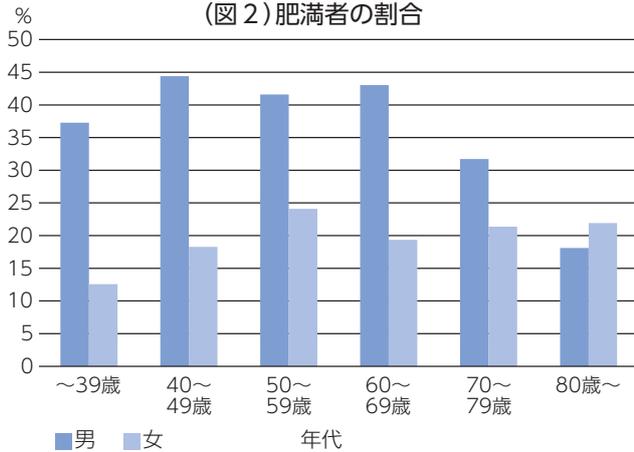
健診結果(図1・2)

49歳以下の男性の脂質異常が多く、69歳以下の肥満者の割合が高くなっています。問診結果からも毎日の飲酒習慣や就寝前の飲食のある人が多いことがわかっています。

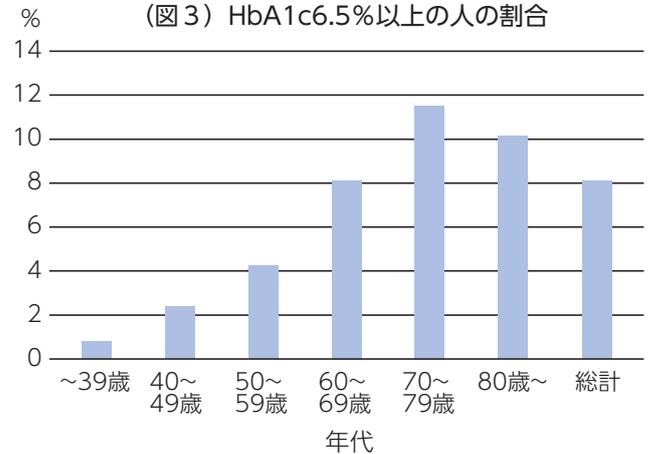
(図1)脂質異常者の割合



(図2)肥満者の割合



(図3)HbA1c6.5%以上の人の割合



糖尿病の状況(図3)

過去1～2か月の血糖の状態を表すHbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)の数値が6.5%以上で糖尿病が強く疑われる人は全体で約8%でした。

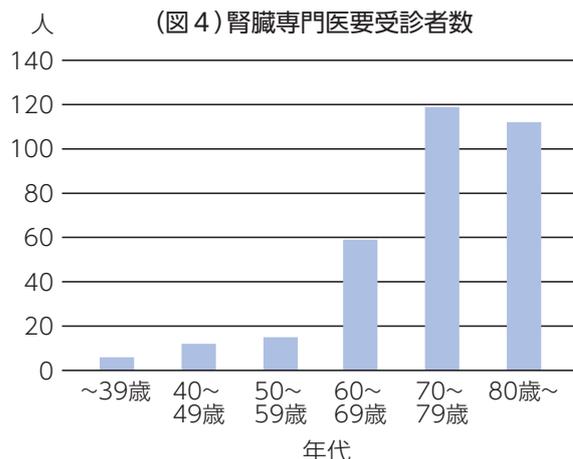
血糖値の高い状態が続くと慢性腎臓病(CKD)や脳梗塞などさまざまな合併症が起こりやすくなります。高い値を放置せずに治療を受けましょう。

腎機能の状況(図4)

慢性腎臓病(CKD)は重症化すると人工透析が必要になる病気です。健診では尿検査やeGFRの値から腎機能を確認することができます。

腎臓専門医の受診を勧められている人は323人で、70代以降で多く、腎臓専門医を受診した人の半数以上が慢性腎臓病などの病気だと診断されています。専門医の受診を勧められた場合は、早期に受診しましょう。

(図4)腎臓専門医受診者数



ただいま住民健診実施中!

- ・年に1回は健診を受けましょう
- ・要受診の結果が届いたら、主治医がいる人もいない人も必ず結果を持って医療機関を受診しましょう
- ・健診の機会に生活習慣を見直しましょう

